



あさご
ASAGO

朝来市議会

議会だより 第45号

2014(平成26)年5月1日発行



和田山幼稚園入園式(4/10)

■第3回(2月)臨時会 ■第4回(3月)定例会



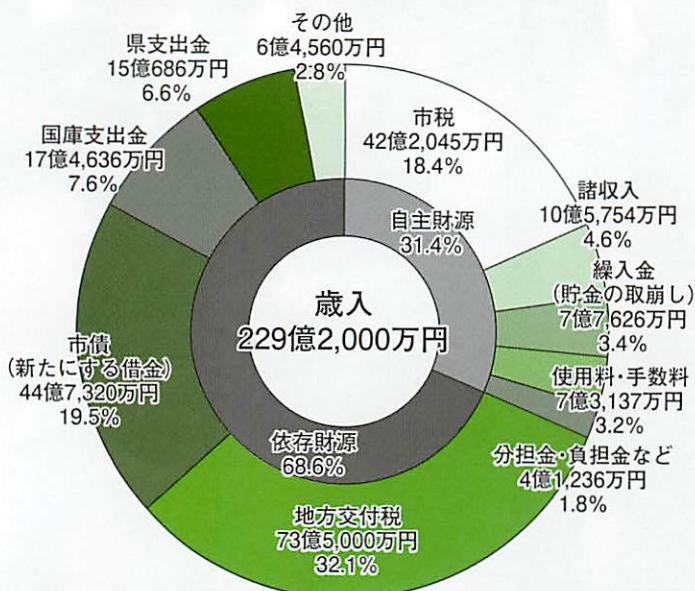
▲わだやま竹田お城まつり(4/6)

平成26年度予算審議	2~7
議案審議・2月臨時会	8~11
一般会議	12
市政を問う／一般質問	13~19
議会報告会開催のお知らせ／特集	20

大型予算を可決

特別会計 92億6,250万円 企業会計 11億5,834万円

歳入予算の内訳(一般会計)



用語解説

自主財源：自主的に収入できるお金。多いほど行政活動の自主性・安定性が確保できる
依存財源：国・県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

インフラ事業と新規事業を実施

3月定例会は、2月25日から3月28日まで32日間の会期で開き、市長から平成25年度補正予算4件、平成26年度予算13件、条例の制定2件、条例の一部改正6件、条例の廃止2件などが提案され、このうち平成26年度予算については「予算特別委員会」を設置してこれに付託し、その他の議案(即決議案を除く)は、所管の常任委員会へ付託して審議しました。

予算特別委員会に付託した平成26年度予算は、最終日(3月28日)にそれぞれ採決が行われ、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計は賛成多数で、これ以外は全会一致で可決しました。

平成26年度の予算総額は、333億4,084万円で、3年連続330億を超す大型予算となりました。このうち一般会計は、合併以来最大の予算規模(229億2千万円)になっています。(※内訳はグラフ参照)

新年度の主な事業には、庁舎整備、学校給食共同調理施設整備、保健センター等整備の本格化に加え、和田山中学校改築、ケーブルテレビ伝送路光ケーブル化、竹田小学校屋内運動場大規模改修といつ朝来市の将来に不可欠ないインフラ整備などで、投資的経費(建物の建築や道路整備など)は56億6千万円と4年前の約4倍となる積極予算となっています。

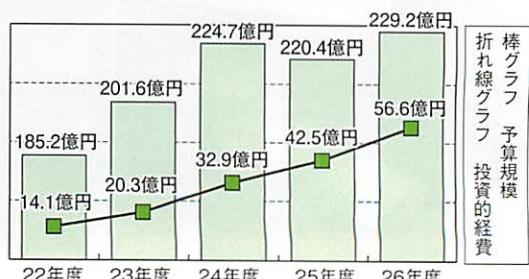


▲施設の老朽化により整備する学校給食共同調理施設

また、昨年9月に策定された「第2次朝来市総合計画」から初めての予算となり、最重要課題として掲げられている人口政策に向けた4つのテーマに沿った予算となっています。(P.3・4参照)

3月定例会

一般会計の予算規模と投資的経費の推移



記名投票の結果

賛成 15人

丸尾 行子	波多野 優	西本 英輔
吉田 俊平	太田 則之	小出 信篤
川井 康充	上田 幸広	森下 恒夫
日下 茂	嵯峨山 博	木村 圭介
渕本 稔	村田 公夫	山本 正之

反対 2人

岡田 和之
鈴木 逸朗

賛成多数で可決！



▲一般会計予算の採決は記名投票で行いました

好きなまちで働く
→社会増の促進

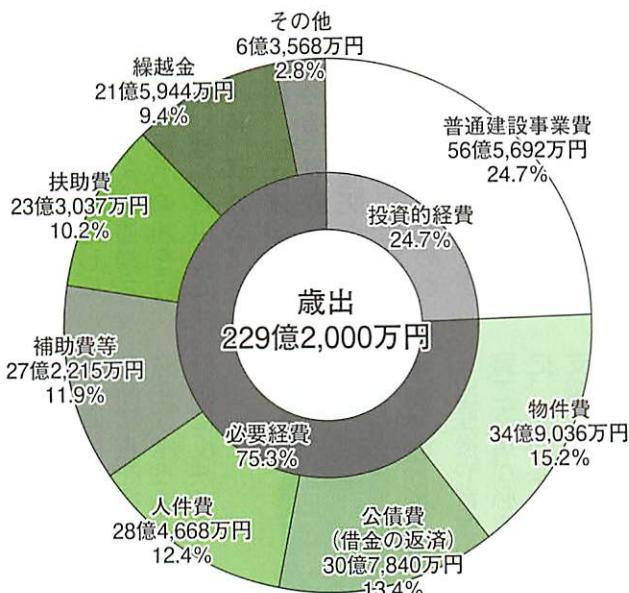
シティプロモーション事業

全国的な認知度が高まつて
いる竹田城跡を核とした地域
の魅力を総合的・戦略的に発
展するシティプロモーション
戦略を策定し、朝来市の知名
度向上とイメージアップを図
るもので、交流人口を増加さ
せ、次代の担い手となる若者
世代の定住先や企業等の進出
先として選ばれるまちづくり
を推進する。

3年連続の

一般会計 229億2,000万円

歳出予算の内訳(一般会計)



用語解説
投資的経費：将来に残るものに支出される経費
(道路、学校などの建設、災害復旧など)

平成26年度各会計予算の内訳

会計名	予算額
一般会計	229億2,000万円
特別会計	92億6,250万円
住宅資金貸付事業	190万円
国民健康保険	37億3,810万円
簡易水道事業	2,930万円
と畜場	1,140万円
宅地開発事業	1,580万円
休日診療所	1,150万円
下水道事業	14億2,650万円
介護保険	35億6,040万円
後期高齢者医療	4億6,100万円
財産区	660万円
企業会計	11億5,834万円
水道事業会計	11億5,312万円
工業用水道事業会計	522万円
合計	333億4,084万円

**鉱山町の観光ビジネス構築
モデル事業**

このことから、県内初となる生野鉱山及び鉱山町の重要な歴史的遺産の保存のほか、空き家・町家を活用した観光ビジネス構築のため専門家の派遣を受け、先導的な取組みを進めます。

致し、地域課題の解決に向けた取組みを進め、地域力の維持・強化に資する事業「地域おこし協力隊」を実施。地域おこし協力隊は、期間限定で都市部の若者が地域で生活し、地域課題である観光振興や特産品開発などに新しい発想をもつて地域住民とともに取り組む。活動期間終了後も自立して定住・定着につながるよう市は積極的な支援を行う。



▲計画的に改修を行う市営住宅 (十田市営住宅)

新・省エネルギー推進事業

出産後や育児中の養育、子育て支援が必要な家庭を対象に、訪問による専門的な相談支援や育児・家事援助を提供するもので、既に実施している乳幼児家庭全戸訪問事業

養育支援訪問事業

→自然増の促進

市営住宅の改修
平成24年度に策定した市営
住宅の長寿命化計画に基づき、
市営住宅の改修・修繕工事を
行い、長寿命化を図る。

災害対策事業、復興支援を 推進

好きなまちで働く
→社会減の抑制

信用保証料補助制度を創設
中小企業融資制度、利子補給制度に加え、新たに信用保証料補助制度を創設。経営革新、開業等のため、5年以上の借入期間で融資を受けた中小企業者に利子補給制度が保証料補助制度を選択し、事業展開初期の負担を軽減する。

地区公民館、体育施設の耐震診断調査

市内に所在する地区公民館
体育施設は、災害時の二次避難所に指定されているが、新耐震基準以前に建てられた施設もあり、災害に強い拠点でくりと今後の適切な維持管理を計画的に進めるため、耐震診断調査を行い、耐震工事が必要な施設は、年次的な改修計画に反映する。

學校給食共同調理所施設整備事業

学校給食センター、給食調理場の老朽化等により、安心な給食を提供するため、学校給食共同調理施設の整備について、平成27年9月の稼働を目指し、建築工事に着手する。

朝來安

ひとり暮らし高齢者等の四
守り活動は、老人会や民生委
員によつて行われてゐるが、
新たに地域住民と日常的に関
わりをもつ金融機関や神戸ヤ
クルト販売、コーポこうべな
どの宅配事業者等を加え、本
年4月から「朝来市安心見守
りネットワーク事業」として
見守りを強化する。

障害者(児)地域生活支援事業
障害のある人(児童を含む)
の生活の自立、向上、社会参
加を図るため、市内外にあ
る相談支援事務所の協力を得な
がら、全ての利用者のサービ
ス利用計画を作成するほか、
障害者相談支援事業の充実、
支援体制強化及び意思疎通支
援事業の拡充を図る。

障害者(児)地域生活支援事業
障害のある人(児童を含む)
の生活の自立、向上、社会参
加を図るため、市内外にあ
る相談支援事務所の協力を得な
がら、全ての利用者のサービ
ス利用計画を作成するほか、
障害者相談支援事業の充実、
支援体制強化及び意思疎通支
援事業の拡充を図る。



▲旧与布十小学校に整備した高齢者活力創造センター

好きなまちで生涯現役
↓自然減の抑制

高齢者活力創造センターを
運用開始

(→) ここのことは赤ちゃん事業) や
子どもの健診、健康相談、訪
問指導、家庭児童相談などの
事業と併せた相談や支援体制
の構築によって、健やかな乳
幼児の発育支援と心強い子育
て支援の充実、児童虐待の未
然防止に努める。

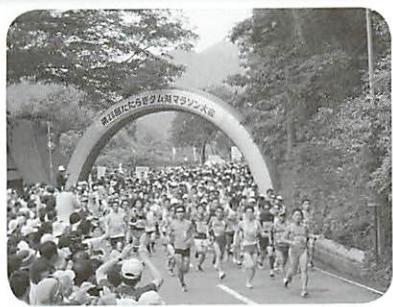
人材センターと健康福祉大学を配置した高齢者活力創造センターの運用を開始する。

人材センターと健康福祉大学を配置した高齢者活力創造センターの運用を開始する。

予算審議

主な質疑

ダム湖マラソン事業の運営



▲支所に大きな負担となっていか(多々良木ダム湖マラソン)

問 多々良木ダム湖マラソン事業は、平成23年度から朝来市のスポーツイベントとして位置づけられているが、一支撑が抱える事業として非常に大きな負担になつていなか。教育委員会等で事業実施をしていくほうがマンパワー的に適切と考えるが。

答 実行委員会の方とともに準備を行い、支所も窓口の職員等を除いて総出で行つてるので、負担になつている面もある。大会当日は、中学生や市内外のボランティア、約300名の協力を得るとともに、全庁挙げて大会を盛り上げていく対応をしている。

答 多々良木ダム湖マラソン事業は、平成23年度から朝来市のスポーツイベントとして位置づけられているが、一支撑が抱える事業として非常に大きな負担になつていなか。教育委員会等で事業実施をしていくほうがマンパワー的に適切と考えるが。

計料の予算が組まれたが、今のところ何もされていない。

竹田城跡の観光客が多く、竹田城跡を優先するあまり、他の事業がおろそかになつてゐるのではないか。

答 一昨年、但馬のまほろばの事務所と店舗について、増築を望む話があり、特に事務所が狭であることから、事務所棟の設計から取り掛かる

とともに、店舗の増築を検討したが、市内に3つある道の駅の役割や機能についての構想策定の中で事務所棟と店舗とを同時設計するほうが好ましいと判断し、新年度で両方あわせた予算を計上している。

福知山市との連携

問 施策の概要の中に福知山市との連携と書かれているが、防災協定の締結のほかにどんな連携を想定しているのか。

答 災害応援協定に加え、福知山市からもう少し深い交流を探つていきたいという働きかけがあり、具体的には観光や有害鳥獣の部分を中心に議論が進むと思っているが、26年度も積極的に研究に取り組んでいきたい。



▲和田山地域の保育・幼児教育の方向はどうなる(和田山幼稚園)

度からの2箇年計画で、長期的視点から見据えた再配置計画の策定を進め、適正な配置と今後の修繕費及び更新等に係る経費を考えるという形で出ているが、計画策定によるメリットと危惧される点について伺う。

答 市内に複数あるプール、図書館、文化会館といった施設については、相当多額の維持管理費等を要し、長期的な

財政状況から維持管理や施設のあり方を真剣に考えていく必要がある。利用実態や今後の修繕、改築の費用がどのように推移するのか2年間をかけてまとめるとともに、行政だけでなく地域の方々の思いもしっかりと見据えながら検討していきたい。

支所提案型事業

問 これまで3年間、一定の金額を各支所に割り振つて支所提案型事業を展開してきた

答 金額を各支所に割り振つて支所提案型事業を展開してきたが、新年度の施政方針では事業名自体もなくなつていて、支所提案型事業のまとめと評価、今後どうしていくのか伺う。

きなのが考へる期間として1年置いたもの。定着してきた事業は予算措置をしている。

事業は予算措置をしている。

度からの2箇年計画で、長期的視点から見据えた再配置計画の策定を進め、適正な配置と今後の修繕費及び更新等に係る経費を考えるという形で出ているが、計画策定によるメリットと危惧される点について伺う。

答 市内に複数あるプール、図書館、文化会館といった施設については、相当多額の維持管理費等を要し、長期的な

財政状況から維持管理や施設のあり方を真剣に考えていく必要がある。利用実態や今後の修繕、改築の費用がどのように推移するのか2年間をかけてまとめるとともに、行政

だけではなく地域の方々の思いもしっかりと見据えながら検討していきたい。



▲支所提案型事業(みどりの笑楽校事業)

きなのが考へる期間として1年置いたもの。定着してきた事業は予算措置をしている。

事業は予算措置をしている。

事業は予算措置をしている。

問 施政方針に挙げられているハザードマップの作成について、このソフト事業と災害対策を担当する部署が行う

ハザード事業とが連携できているのか。

答 ハザードマップは、県が浸水想定区域等を見直したことで作成しなおすもので、見直しされたデータは市においてそれぞれの事業課が持つており、防災担当課とリンクできていない部分もある。今後は一緒に検討を進めたい。

幼保一元化事業

問 幼保一元化事業を実施す

公共施設の再配置の検討

問 施政方針に「公共施設の再配置の検討」とあり、本年

これまで3年間の限定で進めてきたが、支所ごとの取組みに温度差がある。それぞれの支所や地域がどうあるべ

きなのが考へる期間として1年置いたもの。定着してきた事業は予算措置をしている。

事業は予算措置をしている。

事業は予算措置をしている。

財政健全化をめぐり活発な論戦

平成26年度の一般会計と12の特別会計予算（企業会計を含む）は、次の3会計に対し、「賛成」「反対」と、活発な議論が戦わされました。また、この他の予算は全会一致で原案のとおり可決しました。

一般会計

民は知らされていないし、認めてもない。

賛成討論

■ 但馬空港利用促進費は、毎年何億もの赤字を補填しながら、なおかつ利用促進補助金を払って乗つてもう、このような予算が必要なのか。それならば、市内中小業者の仕事起こしという支援や、消費増税で経済の冷え込みが言われる中、住宅リフォーム制度の予算に使うほうが有効ではないか。



▲但馬空港の利用促進が議論の争点に

国民健康保険特別会計

反対討論

■ 企業の健康保険制度は企業が半分負担するが、国民健康保険は国の負担がどんどん減らされて、国保加入者は払いたくても払えないような金額に引き上げられてきている。この原因は、国の負担金の削減だが、制度を運営する市に応分の負担をしていく必要はある。今後とも利用促進を考慮しながら維持すべし。

■ 経済的に苦しい方の加入が増えている現状は理解するが、一方で経済状況、所得に応じた減免措置の制度設計がとられており、現時点では適切妥当と理解できる。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

■ 後期高齢者医療制度は2年ごとに保険料が改定され、毎回保険料が引き上げられて年ごとに保険料が引き上げられる。原因は、医療費が多くなる高齢者ばかりを集めた制度だからであり、高齢者が増え、医療費が上昇することが保険料の引上げに直結する。この制度は根本的な欠陥がある制度。年金が減少し、介護の負担が増える中で、保険料の引上げを行うべきではない。

■ 市が定めた国民健康保険事業財政安定化計画では、1世帯平均、年間5千円、10年後には約5万円の負担増が見込まれている。この自動的な市民負担増加計画を多くの市

国民健康保険事業財政安定化計画とは？

市民の約25%が加入している国民健康保険。近年、加入者の一人あたりの所得は減少する一方で、医療費は増加の一途をたどっています。これまで朝来市においても保険料の上昇を抑えるために、基金を取り崩し、なんとか大幅な保険料アップを抑えてきたものの、基金も底をつく状況となっています。

そこで、朝来市は今後の国民健康保険の安定的な財政運営を図るために財政安定化計画を平成24年度に策定しました。

計画では、医療費の抑制はもちろん財源の確保のため、やむを得ず年次的な保険料の値上げが予定されています。

計画の期間は25年度から34年度の10年間で、約12億円の医療費抑制を見込んでいます。

※計画について詳しくは市民課まで

(TEL 672-6120)

予算審議



▲定住促進課を新設(本庁舎2階)

市のイメージアップには
市民参加が不可欠
シティプロモーション事業
は、本市の知名度向上とイ
メージアップを図り、定住促
進や企業誘致を進めるもので
あるが、市民感覚からかけ離
れたものとならないよう、検
討に際し、積極的な市民参加
を図るとともに、途中経過を
議会や市民に対しフィード
バックすること。

定住対策の総合調整をはじめ、総合計画重点プランの進捗を把握するため、定住促進を所管する部署を新設する予定であるが、総合計画の推進に直結する重要な政策課題としての取組に期待する。



▲恋するフォーチュンクッキーで市をPR

道の駅「但馬のまほろば」の
将来戦略
道の駅「但馬のまほろば」の整備構想について、単なる売場や食事スペースの拡張ではなく、道の駅としての将来戦

バイオマス発電の方策を早期に検討せよ
バイオマス発電計画に伴い、燃料となる木材の搬出と必要量確保に向けた具体的方策を早急に検討・実施されたい。

支所提案型事業は3箇年の取組が終了するが、個々の事業評価を適切に行い、今後の施策展開に生かすこと。

竹田城跡の文化財保護及び保存に関する業務が、平成26年4月以降、竹田城課の業務として補助執行することになつたことについて一定の評価はする。今後、より一層、竹田城跡の管理・保存及び活用について計画策定等、推進されたい。



▲開館時間変更で利用者増を
(あさごふれあいプール「くじら」)

慎重な財政運営の取組を

今後数年間にわたって投資的事業が集中することになるが、地方交付税の一本算定に伴う段階的縮減、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、人口減少に伴う地方税の減少など厳しい財政状況が予測されるため、財政計画を堅持し、慎重な財政運営に取り組まれたい。

予算特別委員会審査報告

一般会計予算と12の特別会計予算を審査するため設置された予算特別委員会(分科会方式)は、議長を除く17人の議員で構成し、延べ11日間(委員会2日、分科会9日)にわたり慎重審査を行いました。委員会からは新年度予算に対し、厳しい意見が報告されました。ここでは主な意見を掲載します。

一般会計

総合計画に直結する 定住対策の部署を新設



▲恋するフォーチュンクッキーで市をPR

略を描きながら具体策を検討されたい。
産業建設常任委員会所管に
係る事務事業の進行管理に留
意し、着実に執行されたい。

着実な事務の進行管理を

産業建設常任委員会所管に
係る事務事業の進行管理に留
意し、着実に執行されたい。

竹田城跡の管理・保存、活
用の推進



▲分科会ごとに審査結果を報告

温水プール運営

温水プール「エスワ」・「く
じら」について、市民の健康
増進の目的達成のため利用者
増をより一層図ること。

行政マネジメント

行政マネジメント事務事業
シートが一般会計の全事業に
わたり作成されたことは評価
するものの、精査が不十分な
部分もあり、シートの意味合
い自体が職員に理解されてい
ない。職員における理解、意
識づけの徹底を図ること。

なお、特別会計についても
行政マネジメント事務事業
シートを用いるなど、分かり
やすい資料作成に努められた
い。

温水プール条例の改正など

21 議案を慎重審議

福祉医療費助成条例の一部改正

この条例改正は、国の制度見直しに伴い県が要綱改正したことによるもので、老人医療費助成と母子家庭等医療費助成が対象。老人医療費助成は、70歳から74歳まで医療費の自己負担が1割から2割とされ、現在の県の助成制度を継続すると70歳から74歳の低所得者より65歳から69歳の低所得者のうち所得を有しない者のほうが自己負担が低くなる逆転現象が生じ、これを解消するため改正するもの。

また、母子家庭等医療費助成は、乳幼児・こども医療助成事業の充実を踏まえ、母子や父子世帯と他の世帯との不均衡を是正するため、対象を低所得者層に重点化するもので、新たな所得制限は児童扶養手当全額支給の基準以下を対象とするもので、賛成多数で原案のとおり可決しました。

母子家庭医療は、扶養手当が全部支給の方で、今の対象者は266人で、このうち全部対象者が124人、一部対象者が142人。この142人が外れる。0歳から中学生までの子どもは、こども医療等により無料化を図っており、影響はない。

高校生は136人が該当し、そのうち、一部支給の117人が外れることで、親と高校生について月額2,000円程度のアップになると県が試算している。

問 条例改正でどんな方が影響を受け、どの程度の負担が増えるのか。

答 影響額は、老人医療費は現行制度適用の方に影響はないが、昭和24年7月1日以降に生まれた人は、2割負担となる。県の試算では、所得がゼロの方で2,600円ほど上がる見込み。低所得者は、500円程度のアップが

農林業体験実習館条例の一部を改正する条例制定

■ この条例改正は、老人医療費の助成に係る負担増加や制度の廃止、母子家庭等医療費の助成に係る基準の変更により、対象者の負担増加を押し付けるものである。一方で、年金は今年も減額され、消費増税はもとより、身の回り品の物価が上昇しているときには負担増加を容認することはできない。

主な質疑

ログハウスの利用者の料
金に、市内・市外という区分
がないか、保養施設として、
市民にメリットがある施設に
すべきではないか。



▲多々良木みのり館へ移管したあさご
芸術の森美術館のアトリエ

温水プール条例の一部を 改正する条例制定

税負担は、応能負担が原則と考えているが、消費税は所得が低い人ほど負担が重く、応能負担に反するもの。消費税分を上乗せする料金引き上げを主な内容とするこの改正には反対。

朝来市温水プール条例は、平成25年度からの指定管理料の見直しに伴い開館日・開館時間等が改正されたが、特に夜間の時間短縮により勤労者が利用しにくい状況となり、プールの開館時間等を改正するもので、全会一致で原案のとおり可決しました。

朝来市温水プール条例は、平成25年度からの指定管理料の見直しに伴い開館日・開館時間等が改正されたが、特に夜間の時間短縮により勤労者が利用しにくい状況となり、プールの開館時間等を改正するもので、全会一致で原案のとおり可決しました。

議案審議

温水プールの開館時間の変更

「エスパワ」

区分	開館時間	
	改正前	改正後
火曜日～土曜日	10：30～20：00	10：30～20：30
日曜日	10：30～17：00	変更なし
水泳教室を実施しない日	10：30～15：00	変更なし

※ただし、12/28～1/3、4～6月及び9～3月の日曜日は上記に関わらず休館

「くじら」

区分	開館時間	
	改正前	改正後
月・火・木・金曜日	プール 10：30～19：00	10：30～20：30
	ジム 10：30～21：00	変更なし
土曜日	プール 10：30～18：00	変更なし
	ジム 10：30～18：00	変更なし
日曜日	プール 10：30～17：00	変更なし
	ジム 10：30～17：00	変更なし

※ただし、祝日、12/28～1/10、11～3月の日曜日は上記に関わらず休館

主な質疑

開館時間の変更の条例改正だが予算が伴うのか。

また、24年度と比較し、ど時間や開館日がどのくらい減るのか。

答 条例改正に伴う予算計上は平成26年度予算に反映されている。サービスについて、開館時間は、24年度と比べおよそ1,200時間減少する。

この条例改正の背景は、前回の条例改正によって時間数を減らして利用者が減少し、利便性が損なわれることによるものであるが、指定管理者や指定管理料の都合によって条例を頻繁に変えることは条例の性格として本当に正しいのか。

答 条例は市民を拘束する面、サービスを提供する面もあり、この改正は市民の立場を全く考えていない。

答 この条例改正は市民の利便性、有効な利用につながることで提示している。

障害者(児)福祉金支給条例を廃止する条例制定

反対討論

討論

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業の拡充等、総合的な施策の拡充を図ることに伴い、福祉金の支給を廃止するもので、初日の本会議に提案され、文教民生常任委員会に付託し、終日の本会議で賛成多数により原案のとおり可決しました。

専決処分の承認を求めることについて(一般会計補正予算(第9号))

主な質疑

問 消費税増税によって、低所得や生活困難の障害を持つ人などが大変苦しくなるときには、廃止を1年遅らせるとか何らかの支援をするのが本来の姿勢と思うが、そのような議論はなかつたのか。

答 そこまでの議論はしていないが、障害者の方々からは総合的な施策を充実してほしいという強い要望をいたずら中で、現在は障害者の相談支援事業が全員の方に行き渡っていないので、新年度中に100%体制を整えるため、予算も大幅に増やしている。

■ 賛成討論

市内の障害者団体から支援サービスの充実を図るために、財源に充ててほしいとの回答があつたと聞いている。これは市の福祉施策が弱いことを表している。福祉とは全てを一律にしてあげることが大切ではなく、必要な支援を通して個々の力を強めていくことが大切。障害者団体からの意見を真摯に受けとめ、障害者(児)のニーズを吸い上げ、きめの細かい福祉施策が実施されると期待する。

■ 主な質疑

問 補正予算で、観覧ルート確保のため、麻土のうで通路をつくり、さらにシートで養生するようだが、一定期間が経過すれば何らかの対応をまたしなければいけないと思うが、最終的に撤去する方向で進まれるのか、考え方を聞かせていただきたい。

答 耐用年数は、明確に何年とは言えないが、今後の保存策定委員会で計画をまとめる中で、検討したい。

平成25年度一般会計補正予算(第10号)

主な追加事業

- 長期債償還元金 繰上償還分(市の借金の繰上償還)
- 基金積立金(地域の元気臨時交付金基金等)
- 社会資本整備総合交付金事業(国の補正予算によるもの)
- 市道除雪対策事業(除雪費用の実績確定によるもの)

主な減額事業

- 基金利子積立金(基金運用利子収入減によるもの)
- 「森林管理100%作戦」推進事業(費用の実績確定によるもの)
- 市長選挙費(市長選挙無投票によるもの)
- 高齢者交流活動拠点整備事業(費用の実績確定によるもの)

平成25年度一般会計補正予算(第10号)の主な内容は、▽公債費(市の借金)抑制対策として実施する長期債償還元金の一部繰上償還に伴う公債費▽地域の元気臨時交付金基金等各種基金積立金▽国の補正予算に伴う社会資本整備総合交付金事業▽実績に基づく市道除雪対策事業の財源更正などの追加予算と▽基金利子収入の減による基金積立金の減額▽事業費確定に伴う予算の減額などを差し引して総額29億2,090万円を増額し、併せて年度内に完成が見込めない事業1件について、次年度へ繰越しができるよう設定するもので、全会一致で可決しました。	問	補正予算により、高齢者交流活動拠点整備事業、経営所得安定対策事業、過疎基幹農道の建屋安井線がそれぞれ減額となっているが、その内容について確認したい。
	問	市の借金の繰上げによる効果は?

下水道事業特別会計補正予算(第3号)

主な質疑

- 雨水幹線の立ノ原ポンプ場の工事は、補助金の追加に伴い事業費も追加せざるを得ない状況だが、一方で繰越明許も追加せざるを得ない状況

市の一般会計には、平成24年度末で約326億円(人口1人当たり約98万4千円)の借金があり、借金を減らす対策として、その一部(29億6,305万円)を繰上げ償還することで、借入先に将来支払う予定だった利子(約2億8,800万円)を削減することができます。

将来、地方交付税の縮減、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、人口減少に伴う地方税の減少など厳しい財政状況が予測されるため、公債費の抑制対策は必要としています。

3月補正予算一覧

- △水道事業会計(収益的支出)4,968万円減額、(資本的支出)6,437万円減額△下水道事業特別会計8,950万円追加△介護保険特別会計(予算総額を変えず、各種サービス給付費の増減調整)(いずれも全会一致で可決)

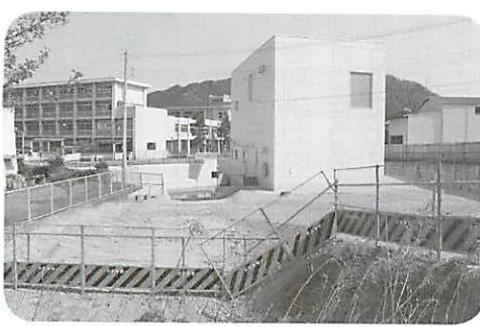
2月議会臨時会

(2月4日)

1日限りで開かれ、朝来市クリーンセンター朝来事業所解体撤去工事請負契約の締結について、市長から提案があり、全会一致で可決しました。

●朝来市クリーンセンター 朝来事業所解体撤去工事	【工期】 平成26年2月10日から 平成26年12月26日まで
【契約相手方】 株式会社 松本組	【契約金額】 2億2,248万円

【契約相手方】 株式会社 松本組	【契約金額】 2億2,248万円
代表取締役 松本早正	



▲建設が進む立ノ原ポンプ場

議案審議

2月臨時会及び3月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた議案のみ

議員名 議案名	岡田 和之	鈴木 逸朗	丸尾 行子	波多野 優	西本 英輔	吉田 俊平	太田 則之	小出 信篤	川井 康充	上田 幸広	森下 恒夫	日下 茂	嵯峨山 博	木村 圭介	渕本 稔	村田 公夫	山本 正之	能見 勇八郎
朝来市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市農林業体験実習館条例の一部を改正する条例制定について (修正部分)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市農林業体験実習館条例の一部を改正する条例制定について (修正部分を除く)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市キャンプ場条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝来市障害者(児)福祉金支給条例を廃止する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度朝来市一般会計予算について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度朝来市国民健康保険特別会計予算について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度朝来市後期高齢者医療特別会計予算について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議員は○ 反対した議員は× 欠席した議員は欠 ※議長は表決権がありません。

全会一致で可決した主な議案

件名
専決処分の承認を求ることについて (平成25年度朝来市一般会計補正予算(第9号)について)
朝来市高齢者活力創造センター条例制定について
朝来市社会教育委員条例の一部を改正する条例制定について
朝来市あさご芸術の森美術館条例の一部を改正する条例制定について
朝来市介護予防施設条例の一部を改正する条例制定について
朝来市温水プール条例の一部を改正する条例制定について
朝来市職員の給与の臨時特例に関する条例を廃止する条例制定について
朝来市過疎地域自立促進計画を変更することについて
朝来市多々良木地区野外運動施設の指定管理者の指定について
平成25年度朝来市水道事業会計資本剰余金の処分について
平成25年度朝来市一般会計補正予算(第10号)について
平成25年度朝来市水道事業会計補正予算(第2号)について
平成25年度朝来市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
平成25年度朝来市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
財産の無償譲渡について(3件)
朝来市教育委員の任命につき同意を求ることについて
朝来市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求ることについて

人事案件(人権擁護委員の諮問)

※敬称略

任期満了による人権擁護委員について推薦され、全会一致で適任と認める答申をしました。

(任期: 平成26年7月1日から3年間)

【人権擁護委員】中野 寿美(口銀谷)

嵯峨山和幸(竹田)

波多野まゆみ(金浦)

足立賢一郎(大月)

中島 隆幸(伊由市場)

教育委員の任命

※敬称略

任期満了による教育委員について、新たに青田 勉(八代)を任命するもので、全会一致で同意しました。

(任期: 平成26年5月24日から4年間)

固定資産評価審査委員会委員の選任

※敬称略

任期満了による固定資産評価審査委員会委員の選任について、それぞれ全会一致で同意しました。

(任期: 平成26年5月23日から4年間)

安本 昭夫(口銀谷)

民部 金司(久世田)

木村登志雄(柿坪)

一般会議

市内商工業の振興並びに活性化について 産業建設常任委員会が一般会議を開催

アベノミクス効果により経済状況は上向いてきてはいるものの、消費税増税などにより、地方では依然として不安定な経済情勢である。朝来市では、大企業が相次いで撤退する中で、今後の市内商工業の振興について、商工会並びに産業経済部から現状について説明を受けた後、意見交換を行つた。

1月17日



▲一般会議の様子

主な発言要旨等

■ 竹田城跡には多くの観光客が来訪しているが、竹田城下での受入れ態勢が十分とは言えない。多くの来訪者があらかじめ市・商工会ともに何らかの仕掛けづくりをする必要があり、連携して道筋を立てておくべきでは。

■ 商工会としても、起業家が増えれば会員数も増えてくると考えており、竹田だけに限らず支援をお願いしたい。

■ 竹田ではもっと賑わいのある整備が必要だと思う。(サンディエスプレイ、デザイン等)

■ 朝来市が策定する経済成長戦略について、商工会からも積極的な意見をいただきたい。

● 参加いただいた市民(団体)
● 朝来市商工会
※敬称略

会長	奥藤 博司
副会長	松本 早正
総務委員長	西垣 隆
政策委員長	田辺 秀夫
金融委員長	太田 富士夫
事務局長	樋 佐久市
経営支援課長	石倉 喜生
足立 道生	
松原 敏典	

■ 竹田城跡へは昨年までに43万人の来訪者があつたが、竹田の観光案内所に訪れた人は10分の1の4万2千人程度と聞いている。竹田城下に食事のできる店舗も増えているが、バスなどで来た団体客の受入れ態勢はパオパオの閉鎖等も影響し、一部は山城の郷で受入れているもののはどんどうが市外で、長く滞在しているためにも、食事のでき

■ 公共事業について、受注する事業所が次々と廃業している状況にある。また、技術者が不足しており、今後は、技術者の確保・育成が大きな課題であり、行政と企業の連携した取組に対し支援を願う。

■ 経済成長戦略は、外貨を得て、域内で循環させることが目的。経済振興条例を制定し、市長が交代しても中小企業の振興を図るべき。

● 参加いただいた市民(団体)
● 朝来市産業経済部
※敬称略

部長	松原 敏典
経済振興課副主幹	波多野 哲哉
同課主査	長野 稔裕

くかが一番の課題。

■ 空き家対策について、今は情報発信ばかりであり、具体的な取組は専門業者に任せ事業化していくべき方向に進んでいくのではないか。

■ 木質バイオマス施設誘致により、森林組合は経営の大変な転換期となるだろう。今後の大きな成長産業となり得る。

■ 本質バイオマス施設誘致会として危機感がうかがえる一般会議であった。

■ 将来的な人口減少社会の到来を真摯に受け止めるとともに、近年の竹田城人気を継続的な地域経済の活性化に繋げるための提案や意見が出されるなど、議会、商工会とともに新たな転換期にあることを認識した。

■ 商標は一括管理すべきであり、一部の商標は会員限定で使用している。

まとめ

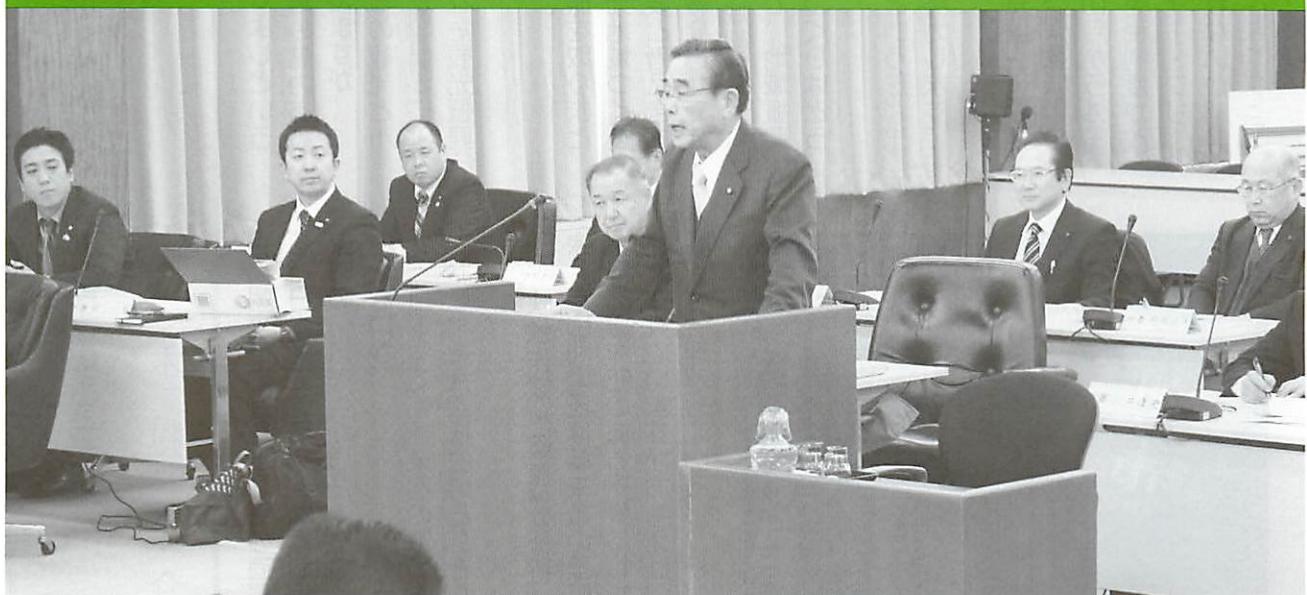
依然として続く地域経済の低迷や後継者不足による商工会員の減少など、朝来市商工会として危機感がうかがえる一般会議であった。

一般質問

12議員が登壇！

市政を問う

3月5日(水) 6名
6日(木) 6名



朝来市議会では代表・一般質問は答弁を含め1人50分以内となっています。内容は各議員が500字程度にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

問 長野県の山中の小さな町・小布施町は、近隣にある有名な上高地よりもリピート率が高く、毎年110万人を超える観光客が訪れる。リピーターを増やすため、観光客の名簿等の把握や整理、フェイスブック等を活用した定期的な情報発信に努める必要がありますが、市長の御

○リピーターを増やす

答 旅行会社、市ホームページ、グーグルのG.M等から情報を入手し、自家用車41%・バス37%・鉄道12%・その他10%が交通手段。63%が日帰り、宿泊33%で市内宿泊は5%。観光客は、昨年12月末で竹田城43万4千人、生野銀山8万2千人、市内全体で205万5千人の入り込み者数などっている。

問 昨年の朝来市内への観光客について、観光情報の入手ルート、交通手段、食事の有無・場所、何処で宿泊したか、観光客から見た評価は、再訪問したいか等、どこまで把握しているのか、市長に伺います。

○昨年の観光客の分析を

答 リピーター増のために必要な対応を検討したい。フェイスブックの情報発信力を認識し、検討していくたい。市内7ヶ所にWi-Fiスポットを設置し、観光アプリによつてリアルタイムで情報発信したい。

所見を伺います。
問 生野銀山とその町並みが、国的重要文化的景観に選定されました。今後、基本計画を立てるべきですが、市長の御所見を伺います。

答 空き家・町屋を活用した観光ビジネスの構築に向け、外部専門家の派遣を受けて指導・助言を受けたい。

○生野銀山の新たな活用を

渕本 稔



▲銀の馬車道ロード標識

一般質問



インバウンド観光の考えは

木村圭介

問 住んでよし、訪ねてよしという地域の人に愛される本物の魅力ある観光づくりが必要と考えますが。

問　観光となり得る業態を取りまとめるマネージャーと観光地域つくりプラットフォームが必要と考えます。明快に地域売出しや情報発信ができる体制です。行政の区域割でなく、観光を通じてエリア内で、地域振興を図り手を組める体制づくりはどう

答 今こそ但馬が一つという形が出来なければならない。努力します。

問 朝見（早朝に城跡見学）、朝湯（よふど温泉）、朝酒（梁瀬の酒蔵）のようないくつかのコースや、今年10月から外国人旅行者向けの消費税免税制度が改正されるが、デューティー・フリー・ショッピング・朝来を考えれいか。

可能か否か検討します。



▲4カ国語に訳したパンフレット

問 朝来市に冠たる2軒の酒蔵がある。日本酒で乾杯条例など制定して、梁瀬の情緒を生かしたまちづくりはできないか。

問 映像作家・藤原次郎氏、写真家・吉田利栄氏は朝来市の里町や夜久野高原を花のある風景にしたらどう提案されていますがお考えは。

答 十分理解しているし、検討も。

問 市内に小児科の入院設備の設置と夜間救急体制の整備が必要である。
答 市内に夜間小児医療の機関がないことは認識している。今後も県の小児科医療体制のあり方を踏まえて豊岡病院組合、医師会等と連携体制の検討を進めていかなければ

○小児科医療について

問 アレルギー対策は万全か。またサービス低下にはならないか。

○学校給食センターについて
問 新センター完成と同時に統合するつもりなのか。
答 当分の間、生野・梁瀬両施設については存続する。保護者・PTAとも十分相談しながら進めたい。

ならない問題と考えていて。医師確保についても更なる努力をしていくたい。

答 小児科医に限らず内科医等についても方策があるならば、積極的に取り入れることはやぶさかではない
※その他に「円山川水系・市川水系の水生動植物の保護及び、水質保全」について質問をしました。



▲子どもたちの命を守るのは大人の義務である
市内に小児科の入院設備と夜間救急を！



子どもたちの「これから」について

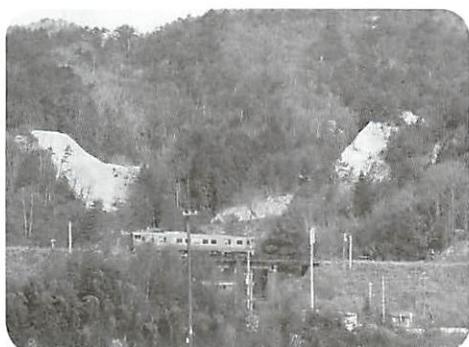
西本英輔

ならない問題と考えていて。医師確保についても更なる努力をしていくたい。

一般質問

問 新給食センターは将来的には市内施設統合を考えているが、単に合理化だけで進めるのではなく、安全・安心を主に適正な人員確保、配置をすべきである。

答 学校と十分協議し、要望には可能な限り、応えたい。人員、職員の関係についても十分協議し、適正な対応をしたい。



▲産業廃棄物処理施設
建設予定地(上岩津区)

問 和田山中学校の建て替え工事は、四十年前の粗雑な工事が第一義の要因と考える。新庁舎をはじめ多くの建設工事が予定されているが、資格や能力を持つ人材を臨時的に雇用し、万全を期すべきである。

答 高度成長期に建設され、急速な建設需要の拡大により、有能な建設業者の不足や良質な骨材不足が主な要因と考える。今後、大型公共施設の建設工事を予定しているが、発注者、設計者、工事監理者、工事施工者がそれぞれの立場で役割を果たすことにより安全性の確保と質の向上が図られるべきである。

○朝来市内建設について

和田山中学校の建て替え工事は、

四十年前の粗雑な工事が第一義の要

因と考える。新庁舎をはじめ多くの

建設工事が予定されているが、資格

や能力を持つ人材を臨時的に雇用し、

万全を期すべきである。

○市独自の条例制定について

産業廃棄物処理施設の設置に係

る紛争の予防と調整に関する条例に

付随して、朝来市独自の細かな条例

を制定すべきである。

答 全国的に見ても環境に関する規

制等の強化を図った条例を制定され

ているが、判例では敗訴の事案も

多々ある。専門的事案であるため、

県関係機関と協議しながら慎重に検

討する。

※その他、竹田城跡を含めた朝来市

の観光振興について質疑を行いました。

問 上岩津区と山内区に産業廃棄物

処理施設の設置が認可されると旧朝

来町、ひいては朝来市が「産廃の街」

と呼ばれかねず、このよつた環境を

子や孫の代に残す事はできない。設

置による周辺への影響を懸念します。

答 事業計画書によると、操業した

場合の微粒子等の被害を防止するた

めのシステムや大気に拡散させない

対策がどう構築されるなどが明らかでない状況であり、現段階で想定

する事は難しい状況である。

○山内区に設置許可申請中の

産業廃棄物中間処理施設

について

問 上岩津区と山内区に産業廃棄物

処理施設の設置が認可されると旧朝

来町、ひいては朝来市が「産廃の街」

と呼ばれかねず、このよつた環境を

子や孫の代に残す事はできない。設

置による周辺への影響を懸念します。

答 事業計画書によると、操業した

場合の微粒子等の被害を防止するた

めのシステムや大気に拡散させない

対策がどう構築されるなどが明らかでない状況であり、現段階で想定

する事は難しい状況である。

響について言えなしが、朝来暮しを通じての交流を後退させたくないといつ思います。

安心・安全な街に

嵯峨山 博

朝来市を
「産廃の街」にしないために

川井 康充

問 近隣には、市と山内区が共同運営する「クラインガルテン伊由の郷」があり、影響を懸念するか。

答 都市生活者が豊かな自然環境を求め、定住促進にも寄与する重要な施設であると認識している。周辺環境に及ぼす影響について、事業者が説明会を行い、住民からの意見に対しての見解を受けた説明会実施状況報告書を作成している状況なので影



▲産業廃棄物処理施設建設予定地(山内区)

一般質問



教育委員会制度改革を問う

波多野 優

○新庁舎について
■ 新庁舎建設は、経済波及効果の



▲制度改革で教育委員会はどう変わる

問 教育委員会制度改革が議論されているが、その目的と概要を聞く。

答 教育委員長、教育長、首長の权限や責任の果たし方が十分か。地域住民の意向を十分に反映できているか。教育委員会の審議が十分か。教育課題に機動的に対応できているかなど、問題がある。改革案は3案あり、この中には、新教育長、代表教育委員という制度や首長による総合教育政策会議の設置などが議論されており、注視したい。

問 それぞれの立場の方に今度の教育委員会制度改革についての見解を聞く。

答 政治的中立性については、いろいろな党派、政策的なことに激しい反映を受け、急激に変わることがないようだと思っている。教育の中立性は、一定保たれてくると思う。そうでなければならぬ。子どもは国の宝、国が変われば教育が変わる。

面から市内業者で施工をすべきであり、市内業者育成の面からも大事である。

答 防災拠点としての機能を備える必要があり、免震構造を採用する。その特殊性から、現行の入札制度では対応しきれない可能性がある。一括、分離、分割発注など課題の抽出と解決方法、また地域経済活性化に寄与させる方法を検討している。

問 産業経済部、都市環境部こそ市長のお膝元で陣頭指揮をとる場合が多い。本庁舎に置くべきと考えるが。

答 適宜適切なる対応を図りたい。

○円山川河川敷整備について
■ 市として毎年のように県に要望



▲てんぐ巣病にかかる桜並木(和田山高校横)

○少子高齢化問題の対応について
問 第2次総合計画の最重要課題として、人口問題が位置づけられているが、改めて市長の少子高齢化問題に取り組まれる決意を伺う。

答 人口政策の中心層である若者の定住促進を重点プランと位置づけ、これらの確実な実施こそ朝来市として取るべき対応であると考えている。

問 若者の定住促進には、都市部に出ている若い人たちが、故郷に帰ろうと思える愛郷心を育てることが重要と思うが、お考えを伺う。

答 今、ふるさと教育の必要性が言われている。教育を通じて愛郷の精神を養うことの大変であると思っている。

○桜並木の保護について
問 和田山高校沿い与布土川堤防の桜並木がてんぐ巣病にかかり、非常に弱っている。保護対策のお考えを伺う。

答 桜の保護について、基本的には各地域で行っていただこうと考えている。てんぐ巣病の対策に大規模な維持管理が必要となる場合、支援できないか今後検討したい。



住みたいと思えるまちづくりを

小出信篤

をしていく。今後とも引き続き強く要望していくが、市民の皆さんにも美化活動に協力願いたい。

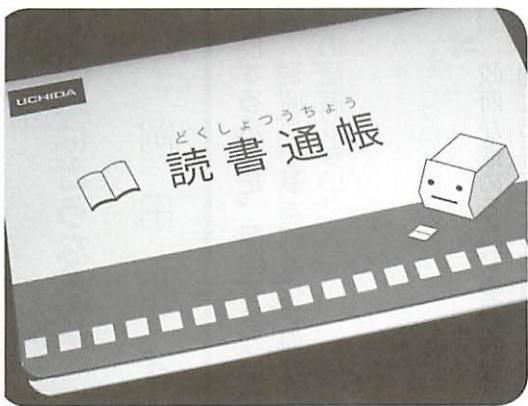
問 ○桜並木の保護について
問 和田山高校沿い与布土川堤防の桜並木がてんぐ巣病にかかり、非常に弱っている。保護対策のお考えを伺う。

答 桜の保護について、基本的には各地域で行っていただこうと考えている。てんぐ巣病の対策に大規模な維持管理が必要となる場合、支援できないか今後検討したい。

一般質問

問 昨年5月の全国読書調査によると、1カ月間の読書平均冊数は、小学生が10・1冊、中学生で4・1冊、高校生では1・7冊と発表され、また、インターネットやスマートフォンなどの急速な普及により読書離れ

○読書通帳について



▲本を読む楽しさを広げる読書通帳

問 医療・介護・福祉を包括する構想や計画が必要と考えるが。

問 昨年5月の全国読書調査によると、1カ月間の読書平均冊数は、小

学生が10・1冊、中学生で4・1冊、高校生では1・7冊と発表され、また、インターネットやスマートフォンなどの急速な普及により読書離れ

いか。

問 事故が予見できる場合、個別の法律、条例で対応しているが、空き家対策は、国県等で動きがあり、市としても適時適切な対応を図りたい。

答 平成24年12月から平成25年1月にかけての調査によると106軒ある。

問 現在、市内にどれくらいの危険な老朽空き家があるか。

答 平成24年12月から平成25年1月にかけての調査によると106軒ある。

○危険老朽化空き家について

が目立つ。これを食い止める施策として、読書通帳の導入を提案する。

答 十分研究させていただきたい。

安心なまちづくりと明るい朝来っ子に

上田幸広

病診連携を推進すべし

吉田俊平

○地域医療について

現在、ネット依存と思われる中高生は全国で約52万人と推計されているが、市としての対策は。

答 子どもたちをネット社会の魔の手から守るために、危機感を持つて保護者、教師に対し啓発活動をしている。

答 医療連携を検討するため、朝来市医師会と豊岡病院組合に対し、積極的に働きかけ、協議を進めていくが。

問 市として関係機関と協力し、病診連携を強力に推進すべきと考えるが。

答 医療連携システム・医療情報共有システムが非常に有効と考えるが。

問 御提案のシステムは、病院や診療所、介護福祉施設が患者の服薬や臨床検査結果等を共有するシステム。

答 県内では北播磨地域が県民局の主導で平成24年度から運用を開始し、情報公開をしている病院は6病院で、

医療機関と介護福祉施設との間で運用がされている。システムの導入に当たり、広域的な観点の検討も必要であり、今後につつかりと検討しなければならない問題であると考えている。

答 現在の在宅医療連携会議をより充実させ、今後ますます進展する高齢化社会に対応できる体制づくりに努めたい。

問 市として医療・介護・福祉の総合的・包括的な施策体系の構築が必要と考えるが、再度答弁を願います。

答 構想や計画については、しっかりと検討を加えなければならぬと思っています。



▲(仮称)朝来医療センター全景

※病診連携とは、「核となる病院と地域内の診療所が行う連携」



秘密保護法で市政はどうなる

岡田和之

問 秘密保護法が施行されれば、職員や市政にどのような影響があるのか。

答 本法は重層的な仕組みが設けられており、例外的な場合を除き、市政あるいは職員の公務に影響するものではない。

問 何が秘密かも秘密にされるため、秘密漏洩の厳しい罰則を恐れて職員も市民も情報開示や請求を自粛してしまう。これでは情報公開条例の役割が果たせなくなるのではないか。
答 処罰されることはないと認識している。情報を開示し、市民の知る権利を保障しなければならない。

問 私は以前、米軍機の低空飛行訓練がドクターへリを危険にさらすとして、訓練の中止と情報公開を求めた。

しかし、秘密保護法で、市民の生命、財産を守るために議会や議員の調査権が制限される恐れがある。前提。市民に情報提供するのは当然のこと。

問 秘密保護法は不正に人権を抑圧するものであり、憲法の最高法規性



▲廃止の声が大きい秘密保護法

○教育委員会への支配・介入は問題
問 政府が進める教育委員会改革では、国と市長による教育長への指示、是正が可能になる。政治からの独立は守れるのか。
答 国の方向性を見定めたい。教育の安定・継続のためにも市長権限に制約が必要だと認識している。

答 現時点で基本的人権を侵す法律との認識はない。

問 市内すべての地域でサービス対応できるのか。
答 ニードイや認知症サポーターの偏在する地域も。

認知症の方には、初期に専門的ケアが大切で、介護度の悪化につながる。全国社保協調査では、3割以上の自治体が対応不可能と回答。介護度は変わらぬのに、サービスの質は落ち、負担は重くなる。市の対応は。

○認知症の方への対応が十分図られるのか

問 介護保険制度改悪法案は、要支援1・2の方の訪問・通所介護を打ち切り、ボランティア等を活用した市町村の「地域支援事業」に移す方針。利用者で認知症の方はどの程度か。
答 要支援は832人で、サービス利用者344人の内、認知症は約160人。

問 子どもの医療費は、昨年中学卒業まで無料に。高校生への助成を検討は。また、どの程度財源が必要か。全員に対する助成は考えていいな。財源は約1,500万円が目安。

答 振り分けが今後出てくると思ひます。

答 事業者報酬は減るので、今後の大きな課題。



訪問介護、デイサービスの 取扱止の影響は

鈴木逸朗

答 事業者報酬は減るので、今後の大きな課題。

一般質問



公共事業で地元に 経済波及効果を

日 下 茂

○大型公共事業の分離発注を

問 100億円を超す公共事業を大手ゼネコンやJV任せではなく、地元企業の活性化や市内経済を潤すのは市長の責任であるが方策は。

答 契約条項に地元企業の優先利用や市内で買い物するなどを盛り込み経済効果を発生させたい。

問 入札は分離発注が望ましい。職人も不足している。研修費補助も必要ではないか。

答 震災復興等で職人が不足している。指摘の不備が起こらないように対応したい。

○竹田城跡修復は十分な計画のもとに

問 発掘調査なしに城跡へ外部からの土の持ち込み、芝植え、石や瓦の移動は計画として間違っていないか。

答 文化財の重要性は認識しているが、緊急な事態の対応と考える。

問 城跡の所有者、竹田区財産区に協力金を払い、活性化に利用してもう考えは。



▲平成28年9月完成予定の新庁舎

答 指摘の件は十分に討議したい。

○但馬牛への汚染対策は十分か

問 城への入山待ちの車の排ガスで県北農業技術センターの但馬牛が汚染されていないか。

答 排ガスの影響についてはしっかりと検討したい。

○学校のインフルエンザ対策は万全か

問 タミフルの効かないインフルエンザH1N1型対策は学校現場において万全か。

答 関係機関と十分情報交換をして対応したい。

平成26年度一般会計予算

総額は18億5,700万円で、常備消防費8億8,981万円、消防施設費4億3,023万円、ごみ処理費3億1,147万円などが計上され、昨年度に比べ3億1,316万円の増額予算となっています。

増額の主な要因は、消防救急無線デジタル化の工事に着手したためです。

平成26年度予算、平成25年度補正予算4件、条例制定1件、条例改正3件などが提案され、いずれも可決されました。

平成26年度一般会計予算

(仮称)朝来医療センターの用地造成費、建設工事費、但馬こうのとり周産期医療センターの工事費、工事費などが計上されています。

平成26年度一般会計予算

終了後に小児科混合病棟の改修工事費などが計上されています。

南但広域行政事務組合議会報告

第118回定例会
平成26年2月4日から20日

なお、朝来市の負担金は7億927万円となっています。

公立豊岡病院組合議会報告

第1回定例会
平成26年3月3日～25日

6月定例会の予定

6月 2日(月)議案審議
10日(火)一般質問
11日(水)一般質問
12日(木)一般質問
26日(木)議案審議

■本会議は、ケーブルテレビで生中継します。
■本会議・委員会の傍聴などお問合せは
議会事務局へ TEL 672-6129

市議会が移転します

本府舎建設工事の着手にあわせ、7月から議会機能(事務局を含む)を山東支所3階へ移します。

本会議のケーブルテレビ生中継は継続しますが、議会の住所、連絡先などが変更となります。詳しく述べます。詳しくは次回発行の議会だよりに掲載します。

ご面倒をおかけしますが、よろしくお願ひします。



▲移転先の山東支所

議会報告会を開催します

～開かれた議会をめざして～

朝来市では、平成21年4月1日に制定、施行した「議会基本条例」の第6条で「市民と議員が自由に意見及び情報を交換する議会報告会を年1回以上実施する」と定めています。

議会のことをより理解していただくため、市内各会場で議会の活動状況を報告します。報告を聞かれて感じられたことのほか、ご質問・ご意見など直接お聞かせください。



▲ご質問・ご意見をお聞かせください

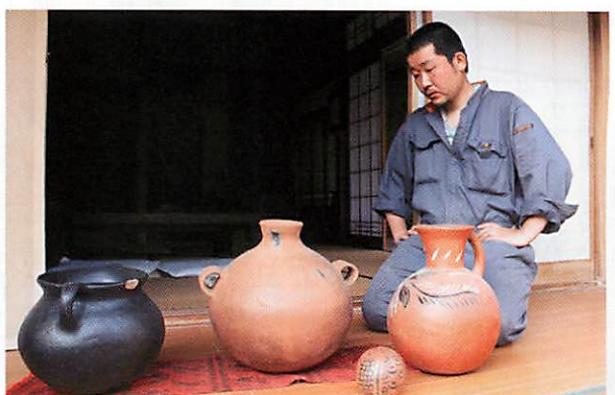
特集 よりも朝来市へ!!②

田中 宏程さん
たなかひろかつさん

陶芸がしたくて平成25年に朝来市へ十器に魅せられ中南米に渡る
(和田三重川波在住)

陶芸と出会ったきっかけ

A Q 市内の陶芸家に学生時代、田舎の陶芸家のかけ。この先生には、今や交流が続いている。その後、岡山で土器の研究を始めた陶芸家につきました。陶芸を突き詰めるにメキシコからアルゼンチンまで現地に3年間滞在しました。大型のマチュピ丘に行きました。現地にはトマトがなく、土器の周りを人が回つて形を作つて作つた。



中南米から持ち帰った土器

朝来市を選んだ理由は

A Q 窯を作つて焼物がしたかったからだ。市内で窑を安く見つかったため、朝来市に住むことに決めました。

転入者を増やすにせよハコたのこじと思ふますか

A Q 朝来市に住んだ感想は 窯の燃料の木材は赤松が適していませんが、近辺の赤松はほとんどが枯れており、使い物になりません。

朝来市は便利なところ、車で少し走れば必要な物は買えるので不自由は感じません。ただ、市の幹線は廻路が複雑で車を止めなければならないことが多いのが大変です。

ければならないのが大変です。